



元気とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2026年06月01日 第1269「週刊五十嵐レポート」

プラットフォーム

5月27日付日経新聞、「少なすぎる日本人大リーガー」という記事。米大リーグ(MLB)に参戦した村上(ホワイトソックス)と岡本(ブルージェイズ)が初年度から結果を出している。野手でも「日本のトッププレイヤーは大リーグでも成功する」との評価が定着しそう。佐藤(阪神)がいつか海を渡るとすれば、すさまじい争奪戦が予想される。

「日本のプロ野球(NPB)は大リーグのファームなのか」。考え方を変える。MLBとNPBの市場規模の差は約8倍。資金が豊富なリーグに選手は引き寄せられる。MLBは米国の国内リーグではなく、各国にトッププレイヤーが集結するプラットフォーム。約1000人弱の大リーガーのうち、米国以外の出身者が約25%を占める。出場を制限するルールはない。日本のレベルの高さを考えれば、大リーグで活躍する選手はまだまだ少なすぎる。

資金力ではかなわなくても、NPBの人気、集客力はMLBに負けていない。一方、各球団の放映権などの権利はバラバラで(一つにまとまれば)市場をさらに拡大する余地も大きい。

5月30日付日経新聞夕刊、「リーグワン『プレミア』をめざせ」という記事。今の日本のスポーツ界には自らがプラットフォームになれる、夢のようなポテンシャルを秘めたリーグがある。ラグビーのリーグワン。リーグには世界トップレベルのタレントが多く所属している。日本は既に「世界有数のラグビー選手と資本が集積する場所」になっている。サッカーの英プレミアリーグや野球の米大リーグのようにグローバルな放映権ビジネスを展開できるプラットフォームになれる可能性は大いにある。

だが「海外出身選手の出場枠の制限を強化する」という新制度を発表。日本生まれ、日本育ちを優遇し、帰化選手の出場枠を制限する方向へカジを切った。テニスの全英オープン(ウインブルドン)は、自国選手が勝てなくても「世界最高の選手が集まる場所」として大会価値を最大化した。

私見だが、NPBはアジアを視野に入れる。韓国、台湾のリーグと一緒にアジアリーグをつくり、外国人枠をなくし、自由に各国から選手を調達。アジア(米国以外)のプラットフォームになる。

ちよつと
気になる出来事

5月26日付日経新聞夕刊、「調べ物で検索『使わない』、20代の5割」という記事。DX支援のナイル社は「検索エンジンの利用実態調査」の結果を発表。

調べもの際に検索を使わないと回答した人は20代で48%と半数近くに上った。生成AIの普及で若年層の検索離れが進む。

調べもので生成AIではなく検索エンジンを使うことがあるかを聞いたところ、全体では38.3%が「まったくない」と答えた。世代別では30代で39.6%、40代で32%だった。

検索エンジンを使っている人に理由を聞いたところ、「使い慣れている」が最多の53%。

将来的に調べものがAIで完結できるようになると思うかを聞いたところ、30.3%が「なると思う」と答えた。

巨人の阿部前監督の事件も長女がChatGPTから児童相談へ。時代の変化を感じる。



一口メモ
知識

政治の根本 3

弟子の子路が「政治はどう行うべきでしょうか」と訊くから、「人民に率先して働き、人民をいたわることだね」と答えると、「いま一言」と言うから、「少しばかりやって上手くいかないからと、政策をコロコロ変えないことだ」と教えたよ。

「高校生が感動した『論語』」(祥伝社新書/佐久協)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5
TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

